

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 7 日

評価対象事業	都調 - 06	風致地区事務	☐ 法定受託事務
所管課	都市調整部 都市景観課		評価者 都市景観課長 奥山 信治
一般	会計	款 45	項 20
目 5			
総合計画上の位置付け	分野名	都市景観	施策の方針名 歴史的風土の保存

1 事業の目的

対象	市民等	意図	都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。
効果	「鎌倉」の環境の維持		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	・各地区における許認可事務。 ・歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域内行為届出事務。	・各地区における許認可事務。 ・歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域内行為届出事務。	・各地区における許認可事務。 ・歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域内行為届出事務。
予算額（千円）	145	362	
国県支出金	145	145	
地方債			
その他			
一般財源	0	217	0
当初人員配置数	5.8	6.8	0.0
人件費（千円）	42,359	45,337	0
事業実績	・各地区における許認可事務。 ・歴史的風土保存区域、近郊緑地保全区域内行為届出事務。		
決算額（千円）	107		
国県支出金	107		
地方債			
その他			
一般財源	0	0	0
人員配置実績数	6.8	0.0	0.0
人件費（千円）	42,520	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
						（上段実績、下段経費（千円））		
活1	指標名							
	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	歴史的風土特別保存地区は神奈川県が所管しており、風致担当は歴史的風土特別保存地区への届出に関する事務処理を行っている。そのため、成果指標に関する活動指標は該当しない。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	歴史的風土特別保存地区の指定面積	ha	573.6	↗	573.6			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図ることで、市民がゆとりと潤いのあるまちづくりが進められていると感じている。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	歴史的風土特別保存地区での申請事務は成果指標との因果関係はない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☒ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出していない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒	評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針 (見直し方針)	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
総評		鎌倉の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るためには、歴史的風土特別保存地区の維持・保全が重要な要素を占めているため、引き続き普及・啓発活動を行う。			上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	行政面積に対する風致地区の割合（％）								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	55.5%	8.4%	0.0%	1.4%	2.8%	13.5%	23.8%	5.2%	20.7%

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	本市は、他市と違い風致地区だけでなく古都保存法に基づく指定区域も多数を占めており、古都の景観を後世に継承していくために、都市の風致の維持、歴史的風土の保存等を適切に行う必要があり、制度の趣旨等について市民の理解と協力が得られるよう努めていくことが必要である。
----------------------	---